

- ・このイベントは、臨床現場でエビデンスを実践するための課題に対して具体的な解決策を提供することを目的として、2024年6月3日から9日までの7日間、世界各国で同時開催されます。
- ・臨床現場において「エビデンスに基づく実践や教育」が求められています。その必要性はわかっているにもかかわらず、日常の実践にどのように取り入れていったらよいのか、そもそも「エビデンスって何？どのように使うの？」と思われている方も多いのではないのでしょうか。
- ・大手前大学インプリメンテーションセンターでは、エビデンスを臨床で取り入れ、日々の実践で使うとはどのようなことなのかについて、EBP (Evidence-Based Practice) の考え方、実際の取り組み事例を紹介し、組織的に取り入れていくことについてお伝えしていきます。

Global Evidence, Local Decision

エビデンスをどう使う？ ～導入の実際と組織的な仕掛け～

- 日時：6月9日（日） 15：00～17：00
- 方法：オンライン（Via Zoom）
- 参加費：無料
- 言語：日本語
- 申し込み：以下の【申込URL】あるいは、こちらのQRコードを読み取り必要事項をご入力ください。
【申込URL】 <https://forms.gle/zMFN8bWqiwaiUAQC7>
- 申込〆切：**6月3日（月）正午まで**



PROGRAM

時間	内容
15:00-15:15	開会挨拶 JBI・EITPの紹介
15:15-15:45	「エビデンスの概念・概要について」 パネリスト：友滝 愛先生
15:45-16:15	「エビデンス導入背景や取り組みの紹介」 パネリスト：郷良 淳子先生
16:15-16:20	小休憩 アンケート依頼
16:20-16:40	シンポジウム 「エビデンスを実装する組織的な仕掛けには何が必要？」
16:40-16:55	Q&A
16:55-17:00	閉会挨拶 アンケート依頼

Panelist.1



友滝 愛先生
東京大学大学院医学系研究科附属
グローバル看護研究センター
特任研究員

Panelist.2



郷良 淳子先生
京都府立医科大学
大学院保健看護学研究科 教授
博士（看護学）
精神看護専門看護師・保健師

ご質問等がある場合は、以下までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

国際看護研究所（大手前大学インプリメンテーションセンター事務局）

ignosaka@otemae.ac.jp